

救急科専門医プログラム

定員
5名



プログラム責任者
救急・集中治療医学講座
中永 士師明 教授

専門研修 担当者 奥山 学 准教授
連絡先 TEL.018-884-6185 FAX.018-884-6450
E-mail okuyamanabu@med.akita-u.ac.jp



プログラムの特徴

基幹施設の秋田大学医学部附属病院では主に重症患者の初期対応とICU管理を、その他の病院で1次から3次までの幅広い疾患を経験することで救急科専門医として必要な知識と技術を身につけます。救急科専門医プログラムは、①他科の研修も救急医のための研修としてしっかりしたものであれば研修期間として認められる(12か月以内)。②地域救急医療研修3か月間が必修。③専門医プログラムを休止して他の専門医プログラムへの移行が可能。他の専門医を取得後に救急専門医プログラムを再開できるという特徴があり、専門医プログラム取得後のサブスペシャリティを見据えた研修が可能です。

プログラムの説明

基幹施設である秋田大学医学部附属病院救急科での研修を1年—2年。地域救急医療研修を含め関連施設へ1年—2年。関連施設では救急科以外の研修が1年まで可能。このように秋田大学医学部附属病院と秋田県内の救急病院を組み合わせる研修を行います。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

- 各種学会指導医数・認定医数・専門医数
救急科専門医:4名、救急医学会指導医:2名、集中治療専門医:3名、日本熱傷学会専門医:1名、日本整形外科学会専門医1名、日本東洋医学会指導医:1名、日本外科学会専門医1名
- 各種学会施設認定
救急科専門医指定施設、集中治療専門医施設、熱傷専門医認定研修施設
- 医局員紹介(出身大学・高校)
出身大学:奈良県立医科大学、秋田大学、関西医科大学
出身高校:奈良高校(奈良)、横手高校(秋田)、秋田高校(秋田)
- 主な連携病院
秋田県内すべての基幹型臨床研修指定病院:大館市立総合病院、能代厚生医療センター、秋田厚生医療センター、市立秋田総合病院、中通総合病院、秋田赤十字病院 由利組合総合病院、本荘第一病院、大曲厚生医療センター、市立角館総合病院、平鹿総合病院、市立横手病院、雄勝中央病院
地域の救急中核となる病院:かづの厚生病院、北秋田市民病院、秋田県立循環器・脳脊髄センター

取得までのキャリアパス

コースの特徴	救急科専門研修プログラム			学位・サブスペシャリティ研修			
	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
救急・集中治療 市中病院でも救急科所属	秋田大学救急科 救急科専門研修プログラム	秋田大学救急科 熱傷学会入会 救急・集中治療	市中病院(救急科) 救急	秋田大学救急科 救急・集中治療	秋田大学救急科 集中治療 研修	秋田大学救急科	熱傷専門医試験
他科ローテーション 市中病院中心	市中病院(他科) 研修科は自由選択	市中病院(救急科) 救急	秋田大学救急科 救急・集中治療	秋田大学救急科 救急・集中治療	市中病院 他科研修	学位 集中治療科専門医試験 ・海外留学 ・国内留学 ・サブスペシャリティ研修 外傷、熱傷、感染症、中毒 災害医療など	
大学院入学	市中病院(他科) 研修科は自由選択	秋田大学救急科 大学院入学	秋田大学救急科 救急・集中治療	秋田大学救急科 救急・集中治療	秋田大学救急科		
外傷専門医	市中病院(他科) 外傷学会入会 外科・整形外科など	秋田大学救急科 救急	秋田大学救急科 救急・集中治療	市中病院 外科・整形外科研修	市中病院	外傷専門医試験	